



会員募集中!

公益社団法人大垣青年会議所では、まちのため、子供たちのために一緒に歩いていただける20歳から37歳までの男女を募集しています。

JCI 公益社団法人大垣青年会議所

TEL:0584-47-8275 FAX:0584-47-8276

〒503-0856 岐阜県大垣市新田町1丁目2番地 E-mail:info@ogaki-jc.jp http://www.ogaki-jc.jp

ご挨拶

公益社団法人大垣青年会議所は、明るい豊かな社会の実現にむけて20歳から40歳までの青年が、私たちの住むこのまちがより良くなるために、様々な運動を行っている団体です。この地域に住まう人々の想いを「まちづくりコンテスト」にて集結し、具現化した「ツール・ド・西美濃」は西美濃地域の広域連携を実現し、この地域の様々な魅力を発信する代表的な事業となりました。2018年度は、関ヶ原町にて写真を通じて西美濃地域の魅力に触れ、地域愛を育むことを目的に「NISHIMINO LOVERSインスタ映えコンテスト」を開催させて頂きました。また、学びを得るために著名な講師をお招きしての講演会など、様々な事業を行っています。多くの事業に地域の皆様にも参加し体験して頂くことで、一人ひとりが少しでも「この地域を良くしたい」と思って頂けるよう私たちは願っています。私たちの住むこのまち、そして世界の子供たちがいつまでも笑顔でいられる豊かなまちとなることを想って、毎年度事業を創り上げています。

私たちは一人ひとりが大きな志を持ち、議案の作成や会議という手法を使って、まちづくりを通して事業構築をし、自己成長に繋げています。その過程には困難や障害があります。しかし青年会議所を通じて出会った仲間と共に乗り越え、真剣であるからこそ、本当の友情が生まれます。また、日本全国、世界中に青年会議所は存在します。世界組織であるがため、沢山の人と出会うことができます。己さえ望めば、世界と直接繋がることができ、幾多の友と成ることが出来ます。多種多様な価値観を持った仲間が切磋琢磨することで、自己成長の機会も増えていきます。全てのことは人生や仕事に生かすことが出来ます。今まで歩いてきた道は一人ひとり違いますが、青年会議所で交わることにより、その先の道は幾多に広がり、大きく彩り豊かな道となるでしょう。

この機会に皆様も、未来の扉を開けてみませんか。我々と共に地域に笑顔や喜びを。志高き多くの仲間との出会いを。自己成長の為に、まだ見ぬ自分の為に、そして地域の未来の為に。共に歩んでみませんか。会員一同、皆様のご入会を、心よりお待ちしております。



2019年度（第68期）理事長
安田 洋一

青年会議所 Q&A

Q1 年齢的にまだ若いと思うのですが、入会することはできますか？

人と人のネットワークは、若ければ若いほどつくりやすく、また、JC(青年会議所)の中でもそれだけ沢山のことを経験できます。

A1

Q2 JC(青年会議所)活動は女性でもできるのですか？

JC(青年会議所)の理念である「明るい豊かな社会」の実現は、男性だけでできるものではありません。ぜひ、あなたの感性を活かして下さい。全国でも数多くの女性会員が活躍しています。

A2

Q3 JC(青年会議所)活動を続けていくと、費用はかかりますか？

確かにある程度の費用はかかります。しかしJC(青年会議所)に入会すれば、各種のセミナーへ参加したり、地域を越えた仲間が沢山できます。会社や、地域のリーダーとしてのノウハウや指導力を身につけ、ネットワークを広げられることを言えば、むしろ、安いくらいです。一般の研修や講習会の費用と比較してみてください。ぜひ、自分への先行投資と前向きに考えてみてはどうでしょうか。

A3

Q4 仕事が忙しいのですが、続けることはできるのでしょうか？

私たちのJC(青年会議所)の会員もみんな仕事で忙しい中、JC(青年会議所)活動をしています。その中で時間の有効な使い方を身につけています。むしろ、時間の使い方を学んでいただくためにお勧めしているのです。

A4

Q5 経営者ではないのですが、入会することはできますか？

経営者だけを対象とする団体ではありません。まちづくりやひとづくりといったJC(青年会議所)活動は経営者か否かとは関係ありません。

A5

Q6 JC(青年会議所)出身者にはどのようなひとがいますか？

地域のリーダーを育成するJC(青年会議所)には、多くの卒業生が各地で活躍しています。

■著名な卒業生(順不同、敬称略)
チャールズ・リンドバーグ、リチャード・ニクソン、コフィー・アナソ、ジャック・シラク、ビル・クリントン、ビル・ゲイツ、麻生太郎、小淵恵三、菅直人、小泉純一郎、中曽根康弘、鳩山邦夫、鳩山由紀夫、森喜朗、市川圓蔵、犬丸一郎、牛尾治朗、黒川光朝、坂田藤十郎、塩川正十郎、千玄室、鳥井信一郎、服部禮次郎、森稔

A6